

フェーン緊急情報 第4号

令和2年9月2日
新潟県農林水産部

9月6～8日にかけて、昨年8月14～15日の台風第10号並のフェーンによる異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

早生品種の収穫を急いでください。

丁寧な乾燥・調製で胴割粒の発生を防いでください。

〔気象の見込み〕

- ◎ 気象庁の予想では、小笠原近海で新たに発生した台風第10号が、発達しながら北上する見通しです。
- ◎ 今後、西日本を通過し、日本海に抜ける可能性があり、9月6～8日にかけて、乾燥した強い南風が吹き込み、フェーン現象による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。
- ◎ 2日発表の「週間天気予報」では、6～7日の最高気温は36℃に達すると予想されているものの、昨年8月14～15日の台風10号と同様な状況が想定され、内陸部では37℃以上のかなりの高温になる可能性があります。

〔当面の管理対策〕

早生品種

- ★ 刈り遅れによる胴割粒の発生と増加が懸念されます。ほ場で籾の黄化状況をただちに確認し、早急に収穫してください。
- ★ ほ場段階で胴割れが想定される場合は送風温度を低く設定してください。また、フェーンにより籾水分が急速に低下した場合や異常高温が続いている場合は、日中の加熱乾燥を避け、通風乾燥に切り替えてください。

中生・晩生品種

- ★ コシヒカリや新之助などの中生・晩生品種では、地域の用水利用計画に合わせて、可能な限り遅くまで土壌水分を保ってください。
- ★ 高温により収穫適期が早まる見込みです。早めに収穫の準備を始めてください。

熱中症予防

- ★ 厳しい暑さが続きます。農作業時には、水分補給や休憩時間を十分に確保するなど、熱中症予防と健康管理に最大限の注意をしましょう。